

レッド・バロン (2008)

DER ROTE BARON
THE RED BARON

メディア 映画

ジャンル アクション アドベンチャー 戦争

製作国 ドイツ

色彩 Color

時間 129分

初公開日 2011/05/21

公開情報 ブロードメディア・スタジオ

映倫 G

【キャッチコピー】

国境を越えて英雄と呼ばれた男がいた――。

【解説】

第一次世界大戦中、敵機を次々と撃ち落とし、連合軍から“レッド・バロン（赤い男爵）”と呼ばれて恐れられた若きドイツ人パイロット、マンフレート・フォン・リヒトホルフェンの伝説的活躍を描く航空機アクション大作。戦争が泥沼化していく中であっても、伝統的な騎士道精神を貫いたリヒトホルフェンの誇り高き闘いを、仲間たちとの友情や切ない恋模様を織り交ぜつつ、複葉機による迫力の空中バトル満載で描き出す。主演はドイツ期待の若手、マティアス・シュヴァイクホファー。

1916年、第一次世界大戦下のフランス北部。連合軍が執り行う葬儀の会場に、突如現われたドイツ軍飛行隊。それは、隊を率いる若きパイロット、マンフレート・フォン・リヒトホルフェン男爵が、自分と勇敢に闘い命を落としたパイロットへの敬意と哀悼を示して行ったデモンストレーションだった。その帰路、連合軍の飛行隊と一戦を交え、一機を撃墜した彼は、自ら墜落現場に駆けつけ、負傷したカナダ人パイロットを救出するのだった。次々と武勲をあげるリヒトホルフェンは、次第に英雄と崇められる一方、軍のプロパガンダにも利用されていく。そんな中、カナダ人パイロットを救出したときに出会った従軍看護師ケイトに心惹かれていくリヒトホルフェンだったが…。

【クレジット】

監督	ニコライ・ミュラーション	Nikolai Müllerschön
製作	ダン・マーク トーマス・ライザー	Dan Maag Thomas Reisser
製作総指揮	ニコライ・ミュラーション ウルリッヒ・ベック ローラント・ペレグリーノ	Nikolai Müllerschön Ulrich Beck Roland Pellegrino
脚本	ニコライ・ミュラーション	Nikolai Müllerschön
撮影	クラウス・メルケル	Klaus Merkel
プロダクションデザイン	イヴォンヌ・フォン・ヴァレンベルク	Yvonne von Wallenberg
衣装デザイン	グドルン・シュレッツマイヤー	Gudrun Schretzmeier
編集	オリヴィア・レッサー エメリー・マンゼー アダム・P・スコット	Olivia Retzer Emmelie Mansee Adam P. Scott
音楽	ディルク・ライヒャルト	Dirk Reichardt

出演	シュテファン・ハンセン	Stefan Hansen	
	マティアス・シュヴァイクホファー	Matthias Schweighofer	マンフレート・フォン・リヒトホーフェン
	ティル・シュヴァイガー	Til Schweiger	フォス
	レナ・ヘディ	Lena Headey	ケイト
	ジョセフ・ファインズ	Joseph Fiennes	ロイ・ブラウン
	フォルカー・ブルッフ	Volker Bruch	
	シュテフェン・シュローダー	Steffen Schroeder	
	ジュリー・エンゲルブレヒト	Julie Engelbrecht	